

<自由論題>

ディスクロージャー資料に基づく企業研究 —全米最大手銀行 JP モルガン・チェイスの経営・事業戦略分析—

岡田高明(東京福祉大学)

JP モルガン・チェイス&カンパニーは、資産総額では、シティグループ、モルガン・スタンレー、ゴールドマン・サックス・グループ、バンク・オブ・アメリカ、ウェールズ・ファーゴといった全米大手銀行の中で最も多い、米国を代表するリーディングカンパニーとなっているが、2008年に発生したリーマンショック等の金融危機において、経営危機に陥ったことから、政府からの資金救済を受けることになり、「Too big too fail」と揶揄され、納税者の巨額資金を費やしたとして、社会的な批判を受けた。しかし、その後は、不死鳥のように復活を遂げ、急速な収益の回復によって、ここ数年における四半期決算では記録的な収益を報告している。また、業界のリーディングカンパニーとして、ワシントンとも強い関係を保ち、トランプ政権が誕生した際には、いち早く新政権との接触を図る等のロビー活動も行っている。

本報告では、全米最大手銀行として業界をリードする JP モルガン・チェイス社とは、どのような金融機関であるのか、どのようにして金融危機を乗り越え、その後は収益や銀行としての各種事業においてリーディングカンパニーの座を確保し、21世紀の金融機関として、どのような進化を遂げようとしているのかについて検証する。具体的検証の過程では、過去10年間のアニュアルレポートを参考に経営戦略や事業戦略を分析するとともに、同社の強みと弱み、同社にとってのビジネス機会及び脅威について SWAT 分析による事例的研究を行う。

1. JP モルガン・チェイス(JPMC)とは、
 - その歴史と現在
2. JPMC の金融機関としての位置づけ
 - ① 銀行と証券会社
 - ② 証券会社と投資銀行
 - ③ 総合金融サービス会社(金融持株会社)の誕生
3. JPMC の分析のために利用するディスクロージャー資料
 - アニュアルレポート—企業文化やリーダーシップが発揮された株主(投資家)向け書類
4. チャートで見る米国証券市場の変遷
5. JPMC のアニュアルレポートの特長を概観する
6. JPMC の経営戦略と事業戦略
7. JPMC の財務動向
8. SWAT 分析
9. JPMC の今後の進化
10. 総括